

2015年06月18日

当院で冠動脈疾患の治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

冠動脈ステント留置後に抗血小板剤と抗凝固剤併用が必要な症例のレジストリー研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、心房細動等何らかの理由で抗凝固療法が必要で、かつ冠動脈ステント留置術を受けられた患者さんを対象に、どれ程の期間、冠動脈ステント留置術後から抗血小板剤や抗凝固療法を継続することが望ましいかを調査する、臨床研究を実施しています。

この研究では過去の診療録（カルテ）からの情報をまとめることによって行います。また治療後の経過を直接お電話やかかりつけの先生に連絡し調査させていただきます。

◆対象となる患者さん◆

2015年1月1日から、2017年12月31日までの間に、心房細動等何らかの理由で抗凝固療法が必要で、かつ冠動脈ステント留置術を受けられた患者さん。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重など

これまでの治療経過、各種検査の結果および治療後の経過

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 研究責任者 多田 毅

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-422-9351